

第19回マンダム動物実験代替法国際研究助成 助成金交付者決定報告

一般社団法人日本動物実験代替法学会 総務委員会
委員長 大竹 利幸 (株式会社資生堂)

マンダム動物実験代替法国際研究助成は、株式会社マンダム様のご厚意により、アジアを中心とした動物実験代替法研究者への国際的な研究支援を目的として、2008年より本学会が実施している研究助成事業であり、本学会の重要な事業の一つとなっております。本助成は本年度で19回を迎え、助成総額300万円の研究助成を行いました。

第19回助成金については、令和7年11月7日より本学会ウェブサイトにて公募を開始し、研究代表者8名から申請がありました。学術委員会内規に基づき利益相反の有無を確認のうえ、本学会選考委員会（学術委員会）において厳正に審査を実施いたしました。選考委員は、あらかじめ定められた審査基準に基づき、応募課題について4項目（目的、方法、内容、成果）および助成希望額を総合的に評価いたしました。その結果、下記のとおり研究代表者ならびに助成対象課題および助成金額を決定いたしました。

研究代表者：橋本 芳樹 Hashimoto Yoshiki

所属： 東京大学大学院薬学系研究科

Graduate School of Pharmaceutical Sciences, The University of Tokyo

研究課題名：ヒト小腸オルガノイドを用いた薬剤誘導性悪心・嘔吐リスクの動物実験代替予測法の確立

Development of a human intestinal organoid-based alternative method for predicting drug-induced nausea and vomiting

研究分野： その他

助成額： 200万円

研究代表者：大岡 央 Akira Ooka

所属： 静岡県立大学薬学部

School of Pharmaceutical Sciences, University of Shizuoka

研究課題名：仮想ヒト細胞数理モデルとAOPの統合による反復投与毒性予測法の開発

Development of a Repeated Dose Toxicity Prediction Method Integrating Virtual Human Cell Models and Adverse Outcome Pathways

研究分野： その他

助成額： 100万円

以上